

執筆者氏名	刊行書籍又は雑誌名	刊行書店名	巻, 頁 (西暦年号)
97) <u>Arihiro,S.</u> <u>Nagura,H.</u> et al	Vascular smooth muscle cells and pericytes express MMP-1, MMP-9, TIMP-1 and type I collagen in inflammatory bowel disease	Histopathology	39,50-59 (2001)
98) <u>Kumagai,S.</u> <u>Hiwatashi,N.</u> <u>Nagura,H.</u> et al	Platelet-derived growth factor and its receptors are expressed in areas of both active inflammation and active fibrosis in inflammatory bowel disease	Tohoku J.Exp.Med.	195,21-33 (2001)
99) 名倉 宏	消化管粘膜における生体防御機構と粘膜障害	口病会誌	90,55-75 (2001)
100) <u>牧山 和也</u>	大腸炎症性疾患の内視鏡像と背景病態	日本大腸検査学会雑誌	142-145 (2001)
101) <u>牧山 和也</u>	ステロイド療法の限界認識と治療戦略	消化管Network メディカル朝日・朝日新聞	2,6-8 (2001)
102) <u>牧山 和也</u>	炎症性腸疾患治療の最前線 潰瘍性大腸炎	日本消化器病学会雑誌	99,1-14 (2001)
103) <u>藤井 久男</u> 他	炎症性腸疾患に対する外科治療	Medicina	39,1162-1166 (2001)
104) <u>Sugimori,S.</u> <u>Fujii,H.</u> et al	Two Cases of Crohn's Disease with Psoas Abscess	日本外科系連合学会誌	26,1351-1355 (2001)
105) <u>島山 勝義</u> <u>岡本 晴彦</u> 他	重症潰瘍性大腸炎の治療戦略(4) 外科的治療にゆだねるタイミング	臨床消化器内科	16,1415-1419 (2001)
106) <u>須田 武保</u> <u>島山 勝義</u> 他	QOLからみた潰瘍性大腸炎の治療選択	外科治療	85,61-66 (2001)
107) <u>鈴木 健司</u>	炎症性腸疾患におけるIL-10, IFN- γ	消化器科	33,279-283 (2001)
108) <u>杉田 昭</u> <u>嶋田 紘</u> 他	Crohn病の消化器管大量出血と緊急外科手術のタイミング	消化器内視鏡	13(2),181-186 (2001)
109) <u>杉田 昭</u>	難病と在宅ケア 肛門関連の新しい外科治療	日本プランニングセンター	7(8),67-69
110) <u>木村 英明</u> <u>杉田 昭</u> <u>西山 潔</u> <u>嶋田 紘</u>	狭窄を伴った十二指腸Crohn病6症例の臨床像と治療成績	日本消化器病学会雑誌	97,697-702 (2000)
111) <u>池内 浩基</u> <u>山村 武平</u>	大腸疾患における低浸襲性手術の現状	臨床成人病	31,1331-139

執筆者氏名	刊行書籍又は雑誌名	刊行書店名	巻, 頁 (西暦年号)
112) 中井 望 小金井一隆 藤井 正一 高橋 正純 鬼頭 文彦 福島 恒男	炎症性腸疾患手術後に合併したPelvic Cystの3例	JJPEN	22,850-852 (2001)
113) M.Iizuka, H.Satou, M.Itoh, T.Shirasaka, M.Chiba, T.Fukusima, S.Watanabe	No evidence of persistent mumps virus infection in inflammatory bowel disease	Gut	48,637-641 (2001)
114) 福島 恒男 小金井一隆 篠崎 大 鬼頭 文彦 高橋 正純 大田 貢由 牧野 洋知 星 加奈子	潰瘍性大腸炎死亡例の検討	日本大腸肛門病学会雑誌	54,579-582 (2001)
115) 福島 恒男 小金井一隆 鬼頭 文彦 大田 貢由 武田 和永 牧野 洋知 星 加奈子	重症潰瘍性大腸炎に対する最新の外科治療	臨床消化器内科	16,1421-1425 (2001)
116) 福島 恒男	クローン病に対する成分栄養療法	日本医事新報	4052,101 (2001)
117) 柴田 裕達 小金井一隆 福島 恒男	潰瘍性大腸炎の肛門膈中隔変形に対してgluteal fold flapを用いて再建した2例	日本大腸肛門病会誌	55,82-87 (2002)
118) 深沢 恭太 小金井一隆 星 加奈子 牧野 洋知 大田 貢由 高橋 正純 金村 英秀 鬼頭 文彦 福島 恒男	クローン病に合併した持癭癌の2例	日本大腸肛門病会誌	55,97-102 (2002)
119) 牧野 洋知 小金井一隆 星 加奈子 大田 貢由 鬼頭 文彦 福島 恒男	潰瘍性大腸炎に合併した大腸癌症例の検討	日本大腸肛門病会誌	55,114-117 (2002)

執筆者氏名	刊行書籍又は雑誌名	刊行書店名	巻, 頁 (西暦年号)
120) Fukushima,T. Sugita,A. Koganei,K. Fujii,S. Shinozaki,M.	Staple-Line Ulcer in the Ileal Reservoir Following Restorative Proctocolectomy	Surg Today	32,118-122 (2002)
121) Chiba M, Yamano H, Fujiwara K, Abe T, Iizuka M, Watanabe S.	Lymph folliculitis in ulcerative colitis.	Scand J Gastroenterol	3,332-336 (2001)
122) Chiba M, Mikami K, Iizuka M, Yukawa M, Watanabe M, Takazoe M, Fukushima T, Koganei K, Kishibe T.	Elevated plasma (1->3) - β -D-glucan, a fungal cell wall constituent, in a subgroup of Crohn's disease.	Scand J Gastroenterol	36,447-448 (2001)
123) Chiba M, Hoshina S, Kono M, Tobita M, Fukushima T, Iizuka M, Watanabe S.	Staphylococcus aureus in inflammatory bowel diseases.	Scand J Gastroenterol	36,615-620 (2001)
124) Chiba M, Nakamura T, Hoshina S, Kitagawa Y.	Optimal cases and sites to search for primary microbial agents in Crohn's disease.	Gastroenterology	120,1066-1067 (2001)
125) 千葉 満郎	ASCA:anti-Saccharomyces cerevisiae antibody.	G.I.Res	9,93-95 (2001)
126) 千葉 満郎	ANCA:antineutrophil cytoplasmic antibody.	G.I.Res	9,96-98 (2001)
127) Hibi T, Kanai T, Watanabe M, Okazawa A, Sato T.	The role of IL-18 on the pathogenesis of Crohn's disease.	日本臨床免疫学会	23,607-610 (2001)
128) 荒木 昭博 渡辺 守	下痢症診断のための画像診断	診断と治療	89,399-406 (2001)
129) 渡辺 守	IL-7の細胞生物学	細胞	33,28-33 (2001)
130) 渡辺 守 山崎 元美 金井 隆典	潰瘍性大腸炎の病態におけるIL-7/IL-7受容体シグナルの関与と治療戦略	Pharma Medica	19,41-47 (2001)

執筆者氏名	刊行書籍又は雑誌名	刊行書店名	巻, 頁 (西暦年号)
131) 金井 隆典 渡辺 守	消化管感染症におけるinnate immunity	現代医療	33,1041-1047 (2001)
132) 渡辺 守 山崎 元美 金井 隆典	炎症性腸疾患の病因	臨床消化器内科	16,223-230 (2001)
133) 岡本 隆一 山崎 元美 渡辺 守	粘膜IL-7/IL-7受容体機構による粘膜内リンパ球増殖調節機構	医学のあゆみ	199,53-58 (2001)
134) 渡辺 守	粘膜免疫の分子機構とその破綻 はじめに	医学のあゆみ	199,1-3 (2001)
135) 岡田英里子 山崎 元美 渡辺 守	炎症性腸疾患におけるIL-7	消化器科	33,272-278 (2001)
136) 渡辺 守	炎症性腸疾患—免疫異常を標的とした治療戦略— (序)	炎症と免疫	10,43-44 (2001)
137) 茂木 健太 澤田 俊夫	大腸Crohn病の長期経過と癌化	消化器内視鏡	13(2),199-205 (2001)
138) 有村 佳昭 今井 浩三	炎症性腸疾患の発癌機序	BIO Clinica	17,41-44 (2002)
139) 鈴木 康夫 吉村 直樹 齋藤 康 他	潰瘍性大腸炎に対する顆粒球吸着療法の効果と機序 に対する考察	日本アフエレス学会	20(1),17-26 (2001)
140) 鈴木 康夫 齋藤 康 他	Filiform polyposisを合併し高度な狭窄症状を呈した潰瘍性大腸炎の一例	胃と腸	36(4),585-590 (2001)
141) 鈴木 康夫 齋藤 康 他	潰瘍性大腸に於ける大腸内視鏡の意義	日本大腸検査学会	13(別),302-305 (2001)

研究成果の刊行に関する一覧表

著 書

執筆者氏名	題 名	書名(編集者名)	発行者名(発行地名)	巻,頁 (発行西暦年号)
1) 下山 孝 里見 匡迪	潰瘍性大腸炎.	難病の診断と治療指針1 改定版 (疾病対策研究会編)	六法出版社 (東京)	111-127 (2001)
2) 下山 孝 福田 能啓	クローン病.	難病の診断と治療指針1 改定版 (疾病対策研究会編)	六法出版社 (東京)	165-177 (2001)
3) 里見 匡迪 福田 能啓	クローン病治療において、メトロ ニダゾール・シプロキササン併用投 与はメチルプレドニゾロンの有 効性と安全性をもつ.	DATA UPDATA消化管1版 (浅香正博、寺野 彰、日 比紀文編)	先端医学社 (東京)	174-175 (2001)
4) 里見 匡迪 山村 誠 下山 孝	鑑別診断と確定診断のポイント.	図説消化器病シリーズ9 「炎症性腸疾患」 (日比紀文編)	メジカルビュー社 (東京)	10-20 (2001)
5) 佐々木雅也 馬場 忠雄	第3章 診断へのアプローチ 3内視鏡 b.sigmoidoscopy	プラクティカル内科シ リーズ12 大腸疾患-最新 の診断技術と治療戦略- (多田正大編)	南江堂 (東京)	34-37 (2001)
6) 西山 順博 馬場 忠雄	Ⅲ. 大腸の病気 8. 虚血性大腸炎	やさしい小腸・大腸疾患 の自己管理(寺野 彰編)	医薬ジャーナル社 (東京)	62-66 (2001)
7) 安藤 朗 馬場 忠雄	I. 消化器疾患 4. 腸管免疫機構 と肥満細胞.	肥満細胞の臨床 (黒澤元博編)	先端医学社 (東京)	60-66 (2001)
8) 佐々木雅也 馬場 忠雄	第V章 炎症性腸疾患の治療 1. 潰瘍性大腸炎の内科的治療 C. 難治性潰瘍性大腸炎に対する 治療.	炎症性腸疾患の臨床-診 断から治療まで- (朝倉 均、多田正大編)	日本メディカルセン ター (東京)	158-161 (2001)
9) 小山 茂樹 馬場 忠雄	第Ⅲ章 基本病変からみた鑑別 診断 2. Cobblestone appearance.	炎症性腸疾患の臨床-診 断から治療まで- (朝倉 均、多田正大編)	日本メディカルセン ター (東京)	100-101 (2001)
10) 馬場 忠雄 辻川 知之	下部消化管-小腸大腸疾患 クロー ン病に対するメサラミンの緩解 維持効果が多施設共同の無作為 二重盲試験によって確認された.	DATE UPDATE消化管 (浅香正博、寺野 彰、日 比紀文編)	先端医学社 (東京)	160-161 (2001)
11) 馬場 忠雄 西山 順博	Ⅲ. 原因の明らかな炎症性腸疾患 6. 薬剤性-抗生物質・NSAIDs.	図説消化器病シリーズ9 「炎症性腸疾患」 (日比紀文編)		201-211 (2001)
12) 織内 竜夫 樋渡 信夫	IBDの長期予後.	IBD診断の展望-診断・治 療・ケアのコツとトピッ クス- (長廻 紘編)	メディカルビュー社 (東京)	203-216 (2001)
13) 樋渡 信夫	潰瘍性大腸炎の診断基準.	潰瘍性大腸炎の診断基準 /新談から治療まで(改 訂第2版) (朝倉 均、長廻 紘編)	日本メディカルセン ター (東京)	20-26 (2001)

執筆者氏名	題名	書名(編集者名)	発行者名(発行地名)	巻,頁 (発行西暦年号)
14) 樋渡 信夫 他	狭義の炎症性腸疾患: Crohn病 活動期の治療.	図説消化器病シリーズ9 「炎症性腸疾患」 (日比紀文編)	メジカルビュー社 (東京)	106-116 (2001)
15) 樋渡 信夫	潰瘍性大腸炎の診断.	プラクティカル内科シ リーズ12 大腸疾患 (多田正大編)	南江堂 (東京)	91-97 (2001)
16) 名倉 宏	粘膜免疫組織のユニーク性	粘膜免疫-腸は免疫の司 令塔 (清野 宏、石川博通、名 倉 宏編)	中山書店(東京)	49~75 (2001)
17) 牧山 和也	腸型Behcet病・単純潰瘍	図説消化器病シリーズ9 (日比紀文編)	メディカルビュー社 (東京)	142-147 (2001)
18) 牧山 和也	非特異性多発性小腸潰瘍症	図説消化器病シリーズ9 (日比紀文編)	メディカルビュー社 (東京)	148-149 (2001)
19) 牧山 和也 磯本 一 林 徳真吉	薬剤性大腸炎	図説消化器病シリーズ2 (寺野 彰編)	メディカルビュー社 (東京)	151-153 (2001)
20) 磯本 一 牧山 和也	感染性大腸炎	図説消化器病シリーズ2 (寺野 彰編)	メディカルビュー社 (東京)	149-150 (2001)
21) 日比 紀文 下山 孝 金城 福則 北洞 哲治 小尾 伸之	潰瘍性大腸炎およびクローン病 緩解維持に対するアザチオプリ ンの有効性に関する臨床研究	平成12年度創業等ヒュー マンサイエンス研究重点 研究報告書 (日比紀文編)		11-17 (2001)
22) 金城 福則 砂川 隆	活動期クローン病の初期治療と しての経腸栄養療法のメタ分析	DATA UP DATE 消化管 (浅香正博、寺野 彰、日 比紀文編)	先端医学社 (東京)	162-163 (2001)
23) 金城 福則 豊見山良作	炎症性腸疾患感染症-細菌性	図説消化器病シリーズ9 (日比紀文編)	メディカルビュー社 (東京)	178-184 (2001)
24) 金城 福則 仲本 学	炎症性腸疾患感染症-ウイルス 性	図説消化器病シリーズ9 (日比紀文編)	メディカルビュー社 (東京)	185-189 (2001)
25) 高添 正和	クローン病-QOLを高めるため の患者家族へのアドバイス-	保健同人社 (東京)		(2001)
26) 福島 恒男 高添 正和	潰瘍性大腸炎とクローン病に克 つ	マキノ出版 (東京)		(2001)
27) 櫻井 俊弘	炎症性腸疾患緩解維持とQOL	図説消化器病シリーズ9 (日比紀文編)	メディカルビュー社 (東京)	117-125 (2001)
28) 山村 武平 池内 浩基	炎症性腸疾患の外科治療	プラクティカル内科シリ ーズ12 大腸疾患	南江堂 (東京)	123-128 (2001)
29) 杉田 昭	痔瘻の手術	経験すべき下部消化管手 術 (島山勝義編)	メディカルビュー社 (東京)	102-109 (2001)

執筆者氏名	題名	書名(編集者名)	発行者名(発行地名)	巻,頁 (発行西暦年号)
30) 杉田 昭	炎症性腸疾患瘻孔、肛門病変への対策	図説消化器病シリーズ9 (日比紀文編)	メディカルビュー社 (東京)	133-141 (2001)
31) Suzuki,K. Baba,Y. Suriki,H. Kawachi,H. Shimizu,F. Asakura,H.	Induction of colitis and exocrinopathy in nude mice induced by immunocompetent cell transfer from murine retrovirus-infected mice.	Trends in Gastroenterology and Hepatology (Asakura,H.,Aoyagi,Y.,Nakazawa,S. Eds)	Spring-Verlag (Tokyo)	197-200 (2001)
32) Matsumoto,T. Nagura,H. et al	Immunopathological features of granuroma formation in the intestinal mucosa of patients with Crohn's disease	Trends in Gastroenterology (H.Asakura,Y.Aoyagi,S.Nakazawa (Eds)	Springer-Verlag (Tokyo)	155-159 (2001)
33) 畠山 勝義	潰瘍性大腸炎の外科的治療	炎症性腸疾患の臨床-診断から治療まで-	日本メディカルセンター	164-169 (2001)
34) 畠山 勝義	大腸全摘術	経験すべき下部消化管手術(畠山勝義編)	メディカルビュー社 (東京)	76-85 (2001)
35) 畠山 勝義	炎症性腸疾患外科的処置とその適応対策	図説消化器病シリーズ9 (日比紀文編)	メディカルビュー社 (東京)	126-132 (2001)
36) 須田 武保 畠山 勝義	2炎症性腸疾患	専門医のための消化器外科学レビュー2001 (跡見 裕ほか監修)	総合医学社	150-154 (2001)
37) 須田 武保 谷 達夫 畠山 勝義	大腸炎症性疾患の外科	消化器外科看護の知識と実際(山岡義生編)	メディカ出版	70-78 (2001)
38) 鈴木 康夫	IBD内科治療の現状	IBD診療の展望 (澤田俊夫、藤盛孝博、飯塚文瑛編)	メディカルビュー社 (東京)	136-150 (2001)
39) 澤田 俊夫	IBD外科治療と問題点	IBD診療の展望 (澤田俊夫、藤盛孝博、飯塚文瑛編)	メディカルビュー社 (東京)	195-202 (2001)
40) 澤田 俊夫		実地医家のための炎症性腸疾患診療マニュアル-昔の常識・今の非常識-	新興医学出版社 (東京)	(2001)
41) 福島 恒男		潰瘍性大腸炎-不安を解消し元気な生活をおくるために-	保健同人社 (東京)	(2001)
42) 福島 恒男 小金井一隆	炎症性腸疾患 外科的処置とその適応	図説消化器病シリーズ9 (日比紀文編)	メディカルビュー社 (東京)	83-93 (2001)
43) 福島 恒夫	炎症性腸疾患-難治患者に負担の軽い根治手術大腸全摘後、マラソンに励む人も	治したいならこの名医!!	朝日新聞社	216-220 (2001)

学会発表に関する一覧表

学会発表に関する一覧表

発表者名	演 題 名	学 会 名	会 場	年月日
1) 下山 孝	サイトアフェレーシスの将来 [会長講演]	第19回日本大腸検査学会	淡路	11.10 (2001)
2) 武田直久 田村和朗 下山 孝 ほか	潰瘍性大腸炎に合併するcolitic cancer dysplasiaの遺伝子異常とその意義	第60回日本癌学会総会	横浜	9.26 (2001)
3) 武田直久 下山 孝 田村和朗 ほか	潰瘍性大腸炎に合併するcolitic cancer-dysplasiaの遺伝子異常とその応用	第19回日本大腸検査学会	淡路	11.10 (2001)
4) 小坂 正 福田能啓 ほか	クローン病の直腸肛門病変に対するメサラジン局所療法の有用性	第43回日本消化器病学会総会	京都	10.18 (2001)
5) 田村和朗	炎症性腸疾患の疾患感受性遺伝子 [招待講演]	第52回日本電気泳動学会総会	宝塚	11.08 (2001)
6) 西上隆之 田村和朗 ほか	潰瘍性大腸炎における癌化例の検討 [シンポジウム]	第61回日本消化器内視鏡学会総会	神戸	5.10 (2001)
7) 田村和朗 福田能啓 ほか	炎症性腸疾患における疾患感受性遺伝子の多型解析 [ワークショップ]	DDW-Japan 2001	京都	10.17 (2001)
8) 佐藤 仁 馬場忠雄 ほか	PepT1発現調節に基づいた小腸切除後のラットにおけるalanyl- glutamine経口投与の有効性	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.18 (2001)
9) 安藤 朗 馬場忠雄 ほか	潰瘍性大腸炎の発症、病態形成へのBacteroides属の関与-HLA-B27Tgラットおよび臨床例における粘膜関連細菌叢の検討-[ワークショップ]	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.19 (2001)
10) 嶋田光忠 馬場忠雄 ほか	酪酸による大腸癌のDecay-Accelerating Factor (DAF)発現抑制の意義	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.19 (2001)
11) 畑 和憲 馬場忠雄 ほか	HLA-B27トランスジェニックラット腸炎における粘膜サイトカイン発現と腸内細菌叢の検討	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.19 (2001)
12) 奥野貴史 馬場忠雄 ほか	ヒト大腸筋線維芽細胞の分離とケモカイン産生能の検討	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.19 (2001)
13) 光山慶一 馬場忠雄 ほか	潰瘍性大腸炎に対するプレバイオティクス療法の試み [シンポジウム]	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.19 (2001)

発表者名	演 題 名	学 会 名	会 場	年月日
14) 安藤 朗 馬場忠雄 ほか	腸管上皮細胞におけるIntestinal TrefoilによるDecay-Accelerating Factorの発現誘導	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.20 (2001)
15) 安藤 朗 馬場忠雄 ほか	短鎖脂肪酸による大腸癌細胞のDecay-Accelerating Factor(DAF)発現の抑制	第38回日本消化器免疫学会総会	北海道	8.10 (2001)
16) 畑 和憲 馬場忠雄 ほか	腸管上皮細胞からのインターロイキン(IL)-8および補体成分産生に対する炭素鎖長の異なる脂肪酸の影響 [ワークショップ]	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.17 (2001)
17) 馬場忠雄	腸上皮細胞機能制御と腸内環境 [会長講演]	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.17 (2001)
18) 辻川知之 馬場忠雄 ほか	緩解期クローン病患者におけるキトサン・アスコルビン酸投与の意義	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.18 (2001)
19) 福永哲也 馬場忠雄 ほか	TNBS誘発小腸ラットにおけるIS-741の有用性	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.18 (2001)
20) 牧野 仁 馬場忠雄 ほか	新たな抗炎症薬IS-741のラットDSS大腸炎に対する効果の検討	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.18 (2001)
21) 畑 和憲 馬場忠雄 ほか	インターロイキン(IL)-17による大腸基底膜下筋線維芽細胞からのIL-6の産生誘導	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.18 (2001)
22) 奥野貴史 馬場忠雄 ほか	大腸基底膜下筋線維芽細胞の増殖と細胞外マトリックス産生についての検討	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.18 (2001)
23) 馬場重樹 馬場忠雄 ほか	インターロイキン-17によるヒト大腸基底膜下筋線維芽細胞からのケモカイン産生誘導におけるMAPキナーゼの関与	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.18 (2001)
24) 金内 理 馬場忠雄 ほか	Germinated Barley Foodstuff(Prebiotics)を用いた潰瘍性大腸炎治療法の検討	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.19 (2001)
25) 長沼 誠 岩男 泰 日比紀文	ステロイド依存・抵抗性潰瘍性大腸炎に対する内科的治療の工夫 [シンポジウム]	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.19 (2001)
26) 佐藤俊朗 日比紀文 ほか	Crohn病におけるTh1誘導および肉芽腫形成機構 [パネルディスカッション]	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.19 (2001)
27) 永山和宜 渡辺 守 日比紀文	IL-7/IL-7レセプターを介した腸管粘膜内リンパ球増殖調整機構の異常による潰瘍性大腸炎の発症 [パネルディスカッション]	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.19 (2001)

発表者名	演題名	学会名	会場	年月日
28) 矢島和治 日比紀文 ほか	炎症性腸疾患病変部粘膜におけるCD1分子発現の検討 [ワークショップ]	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.19 (2001)
29) 江崎俊彦 渡辺 守 日比紀文	潰瘍性大腸炎を発生母地とした大腸癌における癌化機序の追求 [ワークショップ]	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.20 (2001)
30) 長沼 誠 岩男 泰 ほか	難治性潰瘍性大腸炎における再燃・憎悪因子と内視鏡所見からみた治療法の選択 [シンポジウム]	第61回日本消化器内視鏡学会総会	神戸	5.10 (2001)
31) 岩男 泰 日比紀文 ほか	潰瘍性大腸炎難治例に対する内科的治療の工夫と手術適応 [パネルディスカッション]	第61回日本消化器内視鏡学会総会	神戸	5.10 (2001)
32) 日比紀文	炎症性腸疾患とサイトカイン [特別講演]	第38回日本消化器免疫学会総会	札幌	8.10 (2001)
33) 山崎元美 日比紀文 渡辺 守	腸管粘膜浸潤IL-7レセプター陽性細胞移入による慢性大腸炎の惹起	第38回日本消化器免疫学会総会	札幌	8.9 (2001)
34) 長沼 誠 岩男 泰 日比紀文	クローン病回腸絨毛内Tリンパ球集簇の検討 [シンポジウム]	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.18 (2001)
35) 岡沢 啓 日比紀文 ほか	粘膜内CD4陽性T細胞および活性化マクロファージを標的としたクローン病に対する免疫治療の検討 [ワークショップ]	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.19 (2001)
36) 井上 詠 岩男 泰 日比紀文 ほか	新規B7ファミリーメンバー、B7-H3およびB7-DCの腸管免疫における発現の検討	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.19 (2001)
37) 高木英恵 渡辺 守 日比紀文 ほか	IL-18 ^{-/-} 、IL-18R ^{-/-} ならびにIL12 ^{-/-} マウスにおける実験腸炎発症機序の検討	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.18 (2001)
38) 長沼 誠 岩男 泰 日比紀文 ほか	潰瘍性大腸炎治療におけるサイクロポリンA持続静注および顆粒球除去療法の位置づけ [ポスター]	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.18 (2001)
39) 小池祐司 岩男 泰 日比紀文 ほか	Interleukin-1(IL-1) β 遺伝子多型とクローン病の病態との関連についての検討	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.18 (2001)
40) 日比紀文	炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)の病態 [特別講演]	第28回日本小児科栄養消化器病学会	淡路	10.12 (2001)
41) Sakamoto,J. Munakata,A. et al	Colonoscopic Findings with a Predictive Value for Surgery in Patients with Ulcerative Colitis.	9th United European Gastroenterology (UEGW)	Amsterdam	10.10 (2001)

発表者名	演 題 名	学 会 名	会 場	年月日
42) 木内喜孝 樋渡信夫 ほか	TNF遺伝子-1031多型は、英国人クローン病と 相関・連鎖する	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.18 (2001)
43) 小島康広 樋渡信夫 ほか	炎症性腸疾患とNRAMPI遺伝子5'側領域多型 との関連について	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.18 (2001)
44) 織内竜生 樋渡信夫 ほか	クローン病患者の長期予後－累積生存率につ いて－	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.18 (2001)
45) 緒内竜生 樋渡信夫 ほか	大量下血合併クローン(CD)患者の手術適応に ついての検討	第61回日本消化器内視鏡学会 総会	神戸	5.10 (2001)
46) Obana,S. Hiwatashi,N. et al	Ulcerative colitis is associated with promoter polymorphism of lipopolysaccharide receptor gene, CD14.	102st Annual Meeting of the American Gastroenterological Association	Atlanta	5.20 (2001)
47) 織内竜生 樋渡信夫 ほか	初回治療後、5年以上緩解を保ったクローン病 患者の臨床像の検討	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.17 (2001)
48) 尾花伸哉 樋渡信夫 ほか	炎症性腸疾患とCD14遺伝子プロモーター領域 多型との関連について	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.17 (2001)
49) 松本桂輔 樋渡信夫 ほか	MICA遺伝子・HLA-B遺伝子多型と炎症性腸疾 患の関連について	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.17 (2001)
50) Matsumoto,T. Nagura,H. et al	Role of granuloma in Th1 activation and prolifera- tion in patisnts with Crohn's disease	Experimental Biology	Orlando	4. (2001)
51) Nakamura,S. Matsumoto,T. Nagura,H. et al	Granuloma consisting cells masquorading mature dendritic cells induce antigen presentation and T cell stimulation in Crohn's disease	Annual Meeting of American Gastroenterological Associattion	Atlanta	5. (2001)
52) Oshitani,N. Matsumoto,T. et al	Naturally processed peptides bound to human intestinal HLA-DR are much longer than those isolated from murine or human cell lines and predominantly derives from exogenous proteins	Annual Meeting of American Gastroenterological Association	Atlanta	5. (2001)
53) 磯本 一 牧山和也 ほか	放射線直腸炎に対するArgon Plasma Coaguration	第56回日本大腸肛門病学会総 会	東京	10.26 (2001)
54) 味岡洋一 ほか	大腸粘液癌の粘液形質の検討	第90回日本病理学会総会	東京	4.6 (2001)
55) 有廣誠二 名倉 宏 ほか	炎症性腸疾患におけるMAdCAM-1の発現	第90回日本病理学会	東京	4.5 (2001)

発表者名	演 題 名	学 会 名	会 場	年月日
56) 中村志郎 名倉 宏 ほか	クローン病肉芽腫と抗原提示細胞の類似性の検討	第90回日本病理学会	東京	4.5 (2001)
57) 神野良男 名倉 宏 ほか	胚中心を併わないBリンパ球の増殖が潰瘍性大腸炎を特徴づける	第90回日本病理学会	東京	4.5 (2001)
58) 名倉 宏	消化管粘膜における生体防御機能と粘膜障害	第90回日本病理学会	東京	4.5 (2001)
59) Ohta,T. Nagura,H. et al	Deranged macrophage of the colonic mucosa in irritable bowel syndrome	Digestive Disease Week	Atlanta	5.20 (2001)
60) 太田達郎 名倉 宏 ほか	過敏性腸症候群大腸生検組織における免疫組織学的検討ー粘膜炎症の役割	第38回日本消化器免疫学会	札幌	8.9 (2001)
61) 平井邦仁 櫻井俊弘 ほか	難治性肛門病変を伴ったCrohn病の検討ー人工肛門を造設した11例を中心にー	第87回日本消化器病学会大会	東京	4. (2001)
62) 真武弘明 櫻井俊弘 ほか	抗ウイルス剤が著効したサイトメガロウイルス感染を伴った潰瘍性大腸炎の4例の検討	第62回日本消化器内視鏡学会総会	京都	10. (2001)
63) 嶋津剛典 櫻井俊弘 ほか	Crohn病の緩解期の炎症評価におけるII型ホスホリパーゼ(A2P PLA2 II A)の有用性	第88回日本消化器病学会総会	京都	10. (2001)
64) 鈴木健司 朝倉 均 ほか	MAIDS 腸炎モデル大腸におけるIFN- γ , IL-10発現の経時的解析	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.19 (2001)
65) Suzuki,K. et al	Kinetic analysis of phenotype of cells and their cytokine expression in the development of colitis in nude mice with mice with MAIDS colitis	DDW 2001	Atlanta	5.22 (2001)
66) Sasaki,S. Suzuki,K. et al	Prevention of acute DSS-induced colitis by a monoclonal antibody against interferon inducible protein 10	DDW 2001	Atlanta	5.23 (2001)
67) 米山博之 鈴木健司 ほか	炎症性腸疾患の新しい治療標的としてのケモカイン: CXCL-10/IP-10は大腸上皮再生抑制因子である	第9回日本消化器関連学会週間	京都	10.19 (2001)
68) 与那嶺吉正 金城福則 ほか	潰瘍性大腸炎患者における体外式超音波検査の有用性の検討	第19回日本大腸検査学会	淡路	11.10 (2001)
69) 池内浩基 山村武平 ほか	クローン病における穿孔症例の検討 [ワークショップ]	第36回日本腹部救急医学会	小倉	3.15 (2001)

発表者名	演 題 名	学 会 名	会 場	年月日
70) 池内浩基 山村武平 ほか	潰瘍性大腸炎に対する外科的治療戦略の新展開 [シンポジウム]	第87回日本消化器病学会	東京	4.18 (2001)
71) 荘司康嗣 山村武平 ほか	潰瘍性大腸炎の手術適応と治療計画 [パネルディスカッション]	第61回日本消化器内視鏡学会	神戸	5.10 (2001)
72) 池内浩基 山村武平 ほか	潰瘍性大腸炎に対する1期的回腸肛門吻合術の有用性についての検討 [シンポジウム]	第63回日本臨床外科学会	横浜	10.10 (2001)
73) 池内浩基 山村武平 ほか	クローン病における外科的治療の問題点(他数回手術症例の検討) [シンポジウム]	第56回日本大腸肛門病学会	東京	10.26 (2001)
74) 池内浩基 山村武平 ほか	潰瘍性大腸炎に対する1期的J型回腸囊肛門吻合術(IAA)後の括約筋機能検査と排便機能 [ワークショップ]	第19回日本大腸検査学会	淡路	11.10 (2001)
75) 内野 基 山村武平 ほか	急速な進行を認めた大腸型クローン病の1例	第36回日本腹部救急医学会	小倉	3.15 (2001)
76) 池内浩基 山村武平 ほか	クローン病における栄養療法的重要性についての検討	第101回日本外科学会	仙台	4.11 (2001)
77) 池内浩基 山村武平 ほか	クローン病瘻孔症例に対する術式と予後	第56回日本消化器外科学会	秋田	7.25 (2001)
78) 須田武保 畠山勝義 ほか	潰瘍性大腸炎や家族性大腸腺腫症に対する大腸全摘後の回腸囊内視鏡像の検討	第101回日本外科学会総会	仙台	4.13 (2001)
79) 須田武保 畠山勝義 ほか	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘後の回腸囊炎難治例の検討	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.19 (2001)
80) Suda,T. Hatakeyama,K. et al	Study of Endoscopic Findings in Pouches after Ileal Pouch Anal Anastomosis for Ulcerative Colitis and Familial Adenomatous Polyposis.	39th World Congress of Surgery International Surgical Week ISW	Brussel	8.26 (2001)
81) 飯合恒夫 畠山勝義 ほか	潰瘍性大腸炎の大腸粘膜上皮ではCD161+T(NKT)細胞は減少する	第101回日本外科学会総会	仙台	4.13 (2001)
82) 飯合恒夫 畠山勝義 ほか	クローン病におけるNKT細胞の動態	第56回日本消化器外科学会総会	秋田	7.02 (2001)
83) Iiai,T. Hatakeyama,K.	Selective Reduction of CD161+T Cells(Natural Killer T cells) in Patients with Ulcerative Colitis.	39th World Congress of Surgery International Surgical Week ISW 2001	Brussel	8.26 (2001)

発表者名	演 題 名	学 会 名	会 場	年月日
84) 飯合恒夫 皇山勝義 ほか	当科における潰瘍性大腸炎の手術適応と治療成績	第63回日本臨床外科学会総会	横浜	10.12 (2001)
85) 宮澤智徳 皇山勝義 ほか	手術を要した潰瘍性大腸炎およびクローン病を除く小腸潰瘍病変の検討	第56回日本大腸肛門病学会総会	横浜	10.26 (2001)
86) 亀山仁史 皇山勝義 ほか	潰瘍性大腸炎術後合併症の検討－年齢、ステロイドの関与－	第56回日本消化器外科学会総会	秋田	7.26 (2001)
87) 石橋道朗 亀岡信悟 ほか	クローン病胃十二指腸病変の術式選択	第56回日本消化器外科学会総会	秋田	7.26 (2001)
88) 中里和行 亀岡信悟 ほか	深部静脈血栓を伴った潰瘍性大腸炎の2例	第63回日本臨床外科学会総会	横浜	10.12 (2001)
89) 小山文一 藤井久男 ほか	炎症性腸疾患に対する腹腔鏡下手術の安全性の向上と短時間化のための工夫	第101回日本外科学会総会	仙台	4.13 (2001)
90) 杉森志穂 藤井久男 ほか	Hybrid Logistic Functionによるヒト直腸内曲線数式化の試み	第56回日本消化器外科学会総会	秋田	7.25 (2001)
91) 中尾 武 藤井久男 ほか	潰瘍性大腸炎(UC)に対する顆粒球吸着療法(GCAP)施行例の検討	第56回日本消化器外科学会総会	秋田	7.26 (2001)
92) 小山文一 藤井久男 ほか	潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下手術の応用	第56回日本消化器外科学会総会	秋田	7.26 (2001)
93) 西沼 亮 藤井久男 ほか	潰瘍性大腸炎における内視鏡的活動度分類の検討－チェックシートを用いた新しい評価法の試み－	第62回日本消化器内視鏡学会総会	京都	10.18 (2001)
94) 杉森志穂 藤井久男 ほか	Hybrid Logistic Functionによるヒト直腸内曲線数式化の試み	第56回日本大腸肛門病学会総会	東京	10.26 (2001)
95) 杉田 昭 ほか	潰瘍性大腸炎に対するdouble stapling technique(DST)を用いた一期的J型回腸囊肛門管吻合術	第101回日本外科学会総会	仙台	4.11 (2001)
96) 杉田 昭 ほか	潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門管吻合術の工夫と展望	第87回日本消化器病学会総会	新宿	4.18 (2001)
97) 杉田 昭 ほか	Double stapling technique(DST)を用いた潰瘍性大腸炎に対する一期的J型回腸囊肛門管吻合術	第56回日本消化器外科学会総会	秋田	7.25 (2001)
98) 国崎玲子 杉田 昭	Crohn病患者における上部消化管内視鏡的所見と臨床因子との関連	第62回日本消化器内視鏡学会総会	京都	10.17 (2001)

発表者名	演 題 名	学 会 名	会 場	年月日
99) 国崎玲子 杉田 昭	炎症性腸疾患における骨粗鬆症の発病機序の検討	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.17 (2001)
100) 杉田 昭 ほか	潰瘍性大腸炎に対するJ型回腸囊肛門管吻合術後の回腸囊及び肛門管粘膜の病理組織学的検討	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.17 (2001)
101) 杉田 昭 ほか	Crohn病に対する手術適応と手術時期の検討	第56回日本大腸肛門病学会総会	新宿	10.26 (2001)
102) Sugita,A. et al	Quality of life in patients with restorative proctocolectomy for ulcerative colitis	Gastroenterological association	American Atlanta	5.20 (2001)
103) 後藤 啓 今井浩三 ほか	MAdCAM-1アンチセンスによる実験的腸炎抑制効果	第38回日本消化器免疫学会	札幌	8.9 (2001)
104) 高橋宏明 今井浩三 ほか	潰瘍性大腸炎に伴随する癌およびdysplasiaにおけるSialosyl-Tnの発現と内視鏡所見 [シンポジウム]	DDW Japan 2001	京都	10.18 (2001)
105) 森田朋子 岡村 登 ほか	大腸粘膜に生息する大腸菌の付着因子の検索	日本細菌学会	岡山	4.03 (2001)
106) 金村栄秀 福島恒男 ほか	癒着性イレウス予防に対する合成吸収性癒着防止剤(セプラフィルム)の有用性	第101回日本外科学会総会	仙台	4.12 (2001)
107) 小金井一隆 福島恒男	潰瘍性大腸炎術後のpouch related complication - 回腸囊炎とstaple line ulcer	第101回日本外科学会総会	仙台	4.12 (2001)
108) 星加奈子 福島恒男 ほか	潰瘍性大腸炎の術前ステロイド投与量と術前術後合併症	第101回日本外科学会総会	仙台	4.12 (2001)
109) 小金井一隆 福島恒男	50歳以上の潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘、回腸囊肛門管吻合術の成績と問題点	第56回日本消化器外科学会総会	秋田	7.25 (2001)
110) 小金井一隆 福島恒男	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘、回腸囊肛門(管)吻合術の現況から見た手術適応拡大の可能性	第62回日本臨床外科学会総会	横浜	10.12 (2001)
111) 小金井一隆 福島恒男 ほか	潰瘍性大腸炎術後の回腸囊、残存直腸に認めた内視鏡上の異常所見とその経過	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.18 (2001)
112) 小金井一隆 福島恒男	Crohn病術後再発、再手術予防からみた成分栄養療法の意義と問題点	第56回日本大腸肛門病学会総会	東京	10.26 (2001)
113) 柴田裕達 福島恒男 ほか	炎症性腸疾患患者における整容面を考慮した人工肛門閉鎖	第56回日本大腸肛門病学会総会	東京	10.26 (2001)
114) 中尾圭太郎 鈴木康夫 ほか	PIXI法を用いた腸管粘膜透過性の測定 - 第二報	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.18 (2001)

発表者名	演 題 名	学 会 名	会 場	年月日
115) 吉村直樹 鈴木康夫 ほか	多彩な腸管外合併症を伴いサイクロスポリンAの持続静注療法が奏効した重症潰瘍性大腸炎の一例	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.19 (2001)
116) 鈴木康夫 ほか	内視鏡所見に基づく重症潰瘍性大腸炎に対する各種治療法の選択	第61回日本消化器内視鏡学会総会	神戸	5.12 (2001)
117) 吉村直樹 鈴木康夫 ほか	大腸内視鏡所見に基づいた顆粒球吸着法の治療成績の検討	第9回日本消化器関連学会週間	京都	10.18 (2001)
118) 星本相浩 鈴木康夫 ほか	腸管上皮細胞におけるヒストンH4のアセチル化のIL-8遺伝子に及ぼす影響について -capricacidとトリコスタチンAを比較して-	第9回日本消化器関連学会週間	京都	10.19 (2001)
119) 千葉満郎 高添正和 福島恒男 ほか	クローン病における真菌の関与ほか	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.18 (2001)
120) 千葉満郎 守田則一	IBDは生活習慣病か？ [パネルディスカッション]	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.18 (2001)
121) 渡辺 守 ほか	腸管粘膜内浸潤IL-7レセプター陽性細胞の選択的除去による慢性大腸炎治療の可能性	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.18 (2001)
122) 渡辺 守	消化管粘膜と微生物との相互作用	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.19 (2001)
123) 金井隆典 渡辺 守 ほか	Toll-like Receptorシグナルを介在するMyD88分子の腸管粘膜免疫における役割	第87回日本消化器病学会総会	東京	4.19 (2001)
124) 渡辺 守 ほか	内視鏡下生検組織を用いた潰瘍性大腸炎におけるIL-7/IL-7レセプター発現の計時的解析	第61回日本消化器内視鏡学会総会	神戸	5.10 (2001)
125) 田原利行 渡辺 守 ほか	潰瘍性大腸炎(UC)における発癌機序の追究	第61回日本消化器内視鏡学会総会	神戸	5.11 (2001)
126) 渡辺 守	腸管粘膜内浸潤IL-7レセプター陽性細胞を標的とした慢性大腸炎に対する細胞療法の試み	第45回日本リウマチ学会	東京	5.16 (2001)
127) 渡辺 守	クローン病に対する抗TNF α 抗体の有効性と問題点	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.17 (2001)
128) 岡本隆一 渡辺 守 ほか	小腸における上皮細胞由来IL-7による粘膜免疫応答の維持	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.17 (2001)
129) 檀 直彰 渡辺 守 ほか	マウス慢性大腸炎モデルにおけるFas-Fas機構の関与	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.18 (2001)
130) 野村哲也 渡辺 守 ほか	潰瘍性大腸炎におけるT細胞抑制機構に関与するPD-1/B7H1分子の関与	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.18 (2001)

発表者名	演 題 名	学 会 名	会 場	年月日
131) 金井隆典 渡辺 守 ほか	炎症局所に発現するInducible Costimulator (ICOS)分子を標的とした炎症性腸疾患治療の試み	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.19 (2001)
132) 金井隆典 渡辺 守 ほか	Toll-like Receptor (TLR)を介した腸管粘膜修復機序	第43回日本消化器病学会大会	京都	10.19 (2001)
133) 松岡克善 日比紀文 渡辺 守 ほか	Th1特異的転写因子T-betのCrohn病の病態への関与	第31回日本免疫学会総会	大阪	12.13 (2001)
134) 金井隆典 渡辺 守 ほか	炎症局所に発現するICOS/AILIM分子を標的とした炎症性腸疾患治療の試み	第31回日本免疫学会総会	大阪	12.13 (2001)

研究事業報告

厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」

平成13年度第1回総会プログラム

(敬称略)

平成13年7月10日(火)

開会(09:00)

I. 主任研究者挨拶・研究の進め方 下山 孝

II. 厚生労働省エイズ疾病対策課挨拶

III. 研究報告

1. プロジェクト研究(09:20~09:30)

「IBDデータベースを拡張・充実する」

責任者: 名川弘一

(1) IBDデータベースの活用について

○名川弘一(東京大腫瘍外科), 里見匡迪, 下山 孝(兵庫医大消化器内科)

2. プロジェクト研究(09:30~09:40)

「白血球除去療法の重点研究を完遂する」

責任者: 下山 孝

3. プロジェクト研究(09:40~11:00)

「潰瘍性大腸炎の新診断基準, 新治療指針の検討」

責任者: 棟方昭博

(1) 潰瘍性大腸炎の内視鏡的重症度分類の検討

藤井久男(奈良県立医大中央内視鏡部), ○西沼 亮, 畑 倫明, 山内昌哉, 中尾 武, 土井新也,
中川 正, 武内 拓(同1外)

(2) 潰瘍性大腸炎重症例の治療指針案の検討

○棟方昭博(弘前大1内)

(3) ステロイド抵抗性潰瘍性大腸炎に対する内科的治療への工夫と手術適応

○松岡克善, 小池祐司, 新井潤, 一松 収, 船越信介, 江崎俊彦, 矢島知治, 長沼 誠, 岩男 泰,
日比紀文(慶應大内科)

(4) 重症潰瘍性大腸炎に合併した深部静脈血栓症の術前診断と周術期管理

○西條文人, 内藤広郎, 舟山裕士, 福島浩平, 柴田 近, 上野達也, 北山 卓, 米沢仁志, 高橋成一,
木内喜孝, 佐々木 巖(東北大生体調節外科/消化器病態学)

(5) XILEISANと潰瘍性大腸炎

○天野國幹, 天野幹三, 久米健介(広島クリニック)

コーヒーブレイク(11:00~11:10)